

公民館事業に関する町計画等の令和5年度実績

① 寒川総合計画 2040 第1次計画(令和3～6年度)

【施策名】社会教育の振興

【施策目標】町民が地域で学び、その成果がひとづくり、つながりづくり、まちづくりにいかされている。

【具体的な取組_事務事業】公民館運営事業

施策の目標指標	基準値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サークル等の社会教育関係団体利用人数	62,122人 (令和元年度実績)	目標値	64,000	65,000	66,000	67,100
		実績値	44,320	46,932	51,179	

【推進における課題と今後の方向性_令和5年度】

- コロナ禍を経て、公民館利用団体数は回復傾向にあるが、団体の構成人数が減少していることから、利用人数の回復に至らない。講座等からの新規サークルの育成と、既存サークルへの加入を促すサークル入会体験フェスタを年2回実施し、引き続きサークル育成に努める。
- 公民館の社会教育関係団体利用人数は目標及び基準値(令和元年度実績)には至らなかったが、利用団体数の観点では令和5年度実績5330団体で、令和元年度実績5276団体より増加した。社会教育関係団体の多くは公民館サークルであり、新規サークルはまだ会員数が少ない場合が多く、既存サークルは高齢化による会員減などが見受けられることから、利用団体が増えても利用人数はコロナ以前の実績まで届かないことが考えられる。今後も講座からの新規サークル育成と、既存サークルへの加入促進に努めつつ、現在の公民館利用者は70代が6割となっていることから、公民館を利用したことがない若い世代を呼び込めるよう、足を運びやすい当日参加自由のイベント事業の充実を図ること、公民館利用者の拡大を目指す。

② 第2次寒川町教育振興基本計画 前期実施計画(令和3～6年度)

【基本目標】《社会教育》町民が地域で学び、その成果がひとづくり、つながりづくり、まちづくりに生かされている

【主な施策】公民館活動の充実

【事業名】公民館運営事業

【事業目標】・講座等に参加することで、地域活動への関心を持つ町民が増えている。

・地域の学習活動に参加することにより、子どもの成長に関する知識や体験が増えている。

事業の目標指標	基準値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公民館講座等の参加者数	15,239人 (令和元年度実績)	目標値	15,750人	16,000人	16,250人	16,500人
		実績値	5,741人	16,713人	19,450人	
親子・子ども対象事業の参加者数	4,137人 (令和元年度実績)	目標値	4,200人	4,300人	4,400人	4,500人
		実績値	2,520人	3,628人	5,321人	

- 公民館講座を予定どおり開催でき、町民センターホール事業や、公民館まつり、だがしや楽校、北部こどもフェスティバルなど多くの来館者を得た。講座、イベントの周知にLINEを積極的に活用したところ、来館や電話より容易に申し込めることから、申込者が増える効果が出ており、新規利用者の獲得につながった。
- 令和5年度は夏休みの子ども対象事業を予定どおり開催でき、昨年度から導入した申込フォームにより、申込者が増えている。申込多数の講座では可能な限り、受入人数拡大や開催回数を増やすなど、対応している。コロナ禍で子どもの体験活動の機会が減っていたことから、子ども対象事業への申込は全体的に好調であり、高いニーズが感じられた。